

放射線治療、アニメで学ぶ

がん社会 を診る

中川 恵一

回数も減っています。前立腺がんは日本人男性の9人に1人が罹患(りかん)する、男性がんのトップです。東大病院でも従来は38回の通院をお願いしてきました。平日毎日照射しますから約2カ月かかることになりました。

今の定位放射線治療では5回の通院ですみますから、患者の負担は大幅に減りました。医療費も従来の半分程度になり、経済的にもメリットがあります。2020年度に

は、東大病院でも放射線治療が前立腺がんの手術件数をはじめて上回りました。

前立腺がんの定位放射線治療の実際の映像や体験者の感想については「東大病院+前立腺がん+5日間」で検索すればご覧いただけます。服を着替える必要もなく、ズボン

を少し下ろす程度。1回の治療は入室から退室まで約7分、実際の照射時間は2分たらずです。放射線で「焼く」とい言葉がありますが、温度は500分の1も上がりませんから、何も感じません。

欧米では新規のがん患者の約半数が放射線治療を受けていますが、日本ではその半分程度にとどまります。一般人を対象とした私たちのアンケート調査でも、「イメージ

が浮かばなくて怖い」と答えた方が半数を超えるなど、他の治療に比べるとまだまだ理

解が進んでいないことが明らかになっています。

中学と高校の学習指導要領にはがん教育が加えられ、高校の教科書には放射線治療の解説も載っています。このコラムでも取り上げましたが、学校でのがん教育の補助教材として、放射線治療を知るためのアニメも作成しました。「放射線治療+アニメ」で検索ください。

アニメ視聴前後で放射線治療への理解がどう変わるか調査したところ、全年齢層で理解の向上が確認できました。前述のアンケートでは、63%が「他の治療法と比べて治療費が高い」と回答していましたが、アニメの視聴により、「ほとんどは保険がきかない高額な治療」の正答率(×が正解)が28%から69%(41%も上昇するなど、正しい理解が進みました)。

このアニメは中学生、高校生用に作ったものですが、大人にも見てほしいと思っています。(東京大学特任教授)

放射線治療の最大のメリットは美容や臓器の機能を温存できる点です。体への負担も少ないため、通院が原則です。費用も99%近くのケースで健康保険が利きますから、高額な自己負担は不要です。前立腺がん、子宮頸(けい)がん、頭頸部がん、肺がんなど、手術と放射線治療が同等の治療効果を示すがんは少なくありません。

とくに、がん病巣だけをピンポイントに照射する「定位放射線治療」によって通院の



イラスト 中村 久美